授業科目名	職業と家庭生活の設計	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	基礎教育科目	開講時期	後期
学部学科等	子ども生活学部子ども生活学科	曜日	月曜日
必修選択区分	必修	時限（時間）	3 時限（13 時 5 分～14 時 35 分）
標準対象年次	１年次	授業形態	講義
単位数	２単位	授業会場	長坂キャンパス
担当教員名	蟹江教子　准教授		
電話番号 （代表者名）	028-649-0511 （教務課　須藤）	e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず，電話で予約を取ってから，質問や相談に応じる。		

授業の概要

＜授業の概要＞

今日では、人生のどの時期に就職するか、結婚するかしないか、子どもを持つかもたないか、人々の生き方や働き方はきわめて多様になっている。「職業と家庭生活の設計」では、生涯を通じて自分（の興味、関心）にあった職業を継続し、職業上の能力を高めていくために必要なキャリアプランを立て、職業と家庭生活のバランスをとって生活することの必要性について学ぶ。

＜到達目標＞

日本の労働・雇用慣行や家庭内労働（家事、育児、介護など）について理解するとともに、働くこと、結婚すること、子どもを持つことの意味について考え、自分自身のキャリアをデザインする。

＜授業計画＞

第 1 週　キャリアとは何か
第 2 週　働くことの意味
第 3 週　日本人の働き方
第 4 週　家族の形成（1）
第 5 週　家族の形成（2）
第 6 週　ジェンダー（1）
第 7 週　ジェンダー（2）
第 8 週　職場リサーチ（1）
第 9 週　職場リサーチ（2）
第 10 週　職場リサーチ（3）
第 11 週　職場リサーチ（4）
第 12 週　ワークライフバランス
第 13 週　プランの作成（1）
第 14 週　プランの作成（2）
第 15 週　まとめ

＜教科書参考書教材と入手方法＞

教科書　なし

参考書

『大学生のキャリア発達』(2010)宮下一博、ナカニシヤ出版.

『男性の育児休業―社員のニーズ、会社のメリット』(2004) 佐藤博樹・武石恵美子、中央公論社.

『ワークライフバランス社会へ―個人が主役の働き方』(2006) 大沢真知子、岩波書店.

＜成績評価法＞

授業への参加（授業中の発言、コメントシートへの記述内容等）60%

レポート（専門用語を用いた論述であること）40%